令和6年能登半島地震 能登半島 道路の緊急復旧の状況 ^{令和6年1月11日(木) 7時00分時点} 国土 交通省 道路局

珠洲市

国道249号大谷ルー

- ○1/4から国道249号の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、海側の国道249号の復旧に向け、(一社)日建連により緊急復旧作業を順次実施。
- 〇沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、既に7方向で通路を確保

緊急復旧の進捗率

	1/7 7時		現在
半島内の 主要な幹線道路	約6割	⇒	約8割
うち国道249号 沿岸部※1	約2割	⇒	約5割
沿岸部への到達 ※2	6方向	⇒	7方向

- ※1:輪島市門前町~珠洲市役所 ※2:内陸側・海側の両方
- 孤立地区数の推移

1月5日8時	33地区
1月10日16時	22地区

- ※内閣府防災資料より
- ※孤立地区には支援物資が届けられているとの情報



県道38号被害状況



国道249号作業状況





-:国交省対応(走行可能)

写真⑥ 🗸

写真⑤

・: 県対応(この他でも作業を実施)

:自衛隊対応

🗶 :被災規模 大

:被災規模 小~中程度

:完了(緊急復旧含む)

:孤立集落(内閣府防災資料)

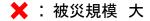
: 孤立集落(解消済)

:復旧業者到達地点

:沿岸部への到達点

国道249号における陸海空からの緊急復旧(自衛隊との連携) ^{令和6年1月11日(木) 7時00時点} 国土交通省 道路局

- ○孤立集落の解消にむけ、自衛隊と連携し、内陸からにくわえて空・海側から、くしの歯状の緊急復旧を順次実施
- 〇あわせて国道249号の被災箇所について、本復旧にむけた現地調査に着手







自衛隊と連携し、空·海から人員·資機材を搬入し、陸路から到達困難な箇所で、緊急復旧を推進

○1/11より※1、TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)が空からヘリで着陸し、道の駅を拠点として現地調査を開始予定

○調査結果をふまえ、重機をヘリや船で運搬※2し、現地で緊急復旧を推進



ヘリの着陸拠点となる道の駅 (千枚田ポケットパーク)



重機をヘリで運搬 (熊本地震の事例)

※1:1/9の出発は、悪天候によりヘリ飛行中止 ※2: 具体の運搬場所や方法等には、防衛省と調整中



(NHK報道より写真を転記)



TEC-FORCEが空からヘリで道の駅に着陸し、 先遣隊として、現地調査(1/11予定)

緊急復旧に着手

調査結果をふまえ、空・海から資機材を運搬 (候補地:深見海岸(ホパークラフト)、道の駅(ヘリ))



※ : 被災規模 小~中程度





令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

石川県

新潟県

富山県



令和6年1月11日 6時15分時点

土砂災害発生件数

64件*1

【被害状況】

人的被害:死者 : 25名

安否不明者: 3名 負傷者: 2名

家屋被害:全壊 : 16戸

半壊 : 2戸

一部損壊 : 2戸

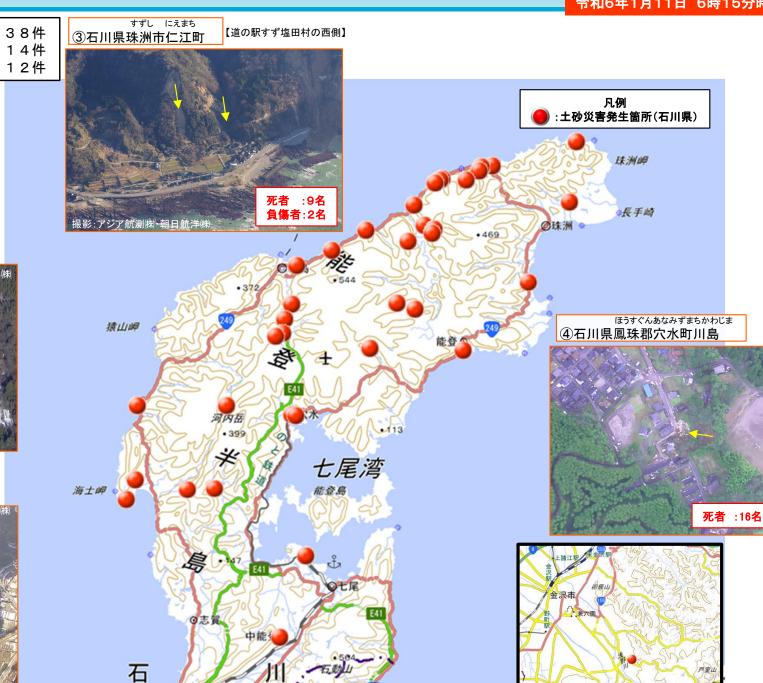
※1:都道府県から土砂災害発生箇所として報告された件数

わじまし くまのまち ①石川県輪島市熊野町



わじまし いちのせまち ②石川県輪島市市ノ瀬町





※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

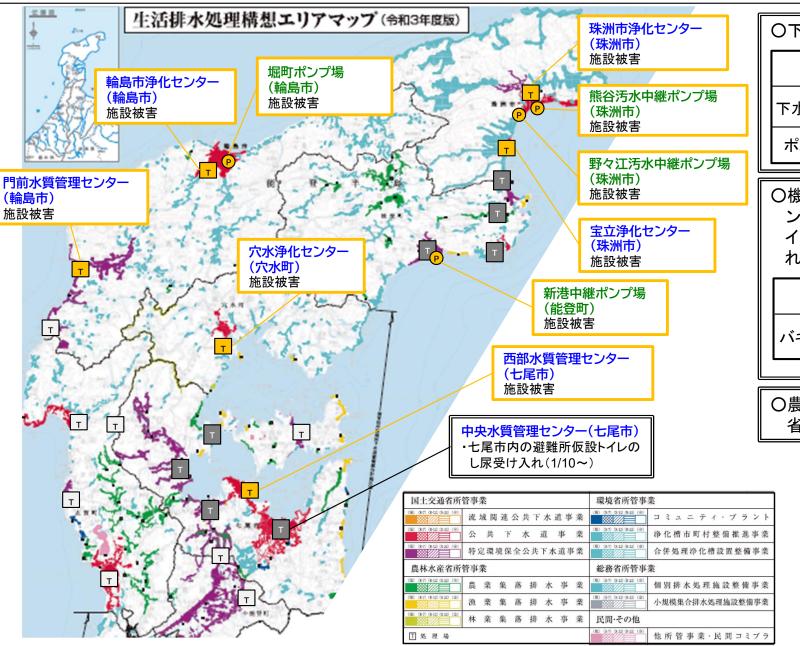
令和6年能登半島地震に伴う下水道施設の被害状況(石川県)

令和6年1月11日 6:15時点

国土交通省

〇特に被害の大きい能登地方6市町に対し、大都市の下水道職員が下水道施設の早期復旧に向けた支援を実施(1/8~)

〇日本下水道事業団により、稼働停止の下水処理場、ポンプ場の緊急支援を実施(1/7~)



〇下水道施設の復旧状況

	1/6	14:00時	点	現在
下水処理場	稼働停止	9箇所	⇒	6箇所
ポンプ場	稼働停止	4箇所	⇒	4箇所

〇機能確保済みの七尾市中央水質管理センターにおいて七尾市内の避難所仮設トイレのし尿(約2000人分(約4t))を受け入れ開始(1/10~)

	従前	現在
バキューム車運搬距離	153km	⇒ 14km

〇農業集落排水(農水省)、浄化槽(環境 省)と連携調整を開始(1/9~)

【凡例】

下水処理場

- 〒 稼働停止(流入汚水なし) 6箇所
- □ 機能確保済
- 回 被害なし

ポンプ場

▶ 稼働停止(流入汚水なし) 4箇所

令和6年1月11日 5:00時点

国土交通省 水管理 • 国土保全局

応急対策済

- 国管理河川では、5県(新潟、富山、石川、福井、長野)に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所で堤防沈下、 天端クラック等を確認、信濃川(しなのがわ)水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 〇 県管理河川では、6県(新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜)が管理する122水系554河川のうち、104水系526河川で点検完了、残る河川は 点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する52水系87河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中。 石川県管理の河原田川(かわらだがわ)水系河原田川、山田川(やまだがわ)水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。 河原田川についてはTEC-FORCEによる現地調査を実施、応急対策の準備中。山田川については流路確保工事中。
- 〇 ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム(石川県管理)で損傷が確認されたため、応急対策を実施中。 また、専門家(国総研)により、計測データや画像等を基にした遠隔指導に加え、本日(1/11)、ヘリにて現地入りし技術支援を実施。
- 等の6海岸において、堤防護岸の損壊等を確認。応急対策の実施方法について検討中。



1水系1河川

天端クラック 2箇所

令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

坐 国土交通省

令和6年1月11日09:00時点

南羽咋駅~羽咋駅間

A のと鉄道 七尾線(33.1km)

- 〇運休区間: 七尾駅〜穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表) 1月9日〜10日 現地調査実施(合計12名)
 - ・鉄道局(TEC-FORCE) 2名、北陸信越運輸局(TEC-FORCE) 3名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名

B JR西日本 七尾線(59.5km)

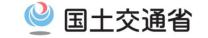
〇運休区間: 高松駅〜和倉温泉駅間 高松駅〜羽咋駅間は、運転再開には1月5日より少なくとも2週間以上かかる見込み。 (45.1km) 羽咋駅〜和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 JR西日本より発表)



羽咋駅構内

※各写真はJR西日本提供

令和6年能登半島地震による能登地域港湾の利用可否状況



- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、 ウ水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- このうち、支援物資輸送の<u>中核となる水深4.5m以深の9岸壁が利用可能</u>であることを確認(条件付きで利用可能なものを含む)。 (その他、小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、23施設が利用可能(条件付きで利用可能なものを含む))
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、利用可能施設の利便性向上のための<u>応急復旧作業を進める</u>。

輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。 →アクセス経路の拡幅を予定。当面、応急復
- ・地震による地盤隆起により、<u>岸壁水深が</u> 最大1.5m程度浅くなっている。

旧したアクセス経路で物資を搬送。

→回復には抜本的な復旧工事が必要であり、 水深6mの岸壁として運用。





RORO船による支援物資輸送(10日)

穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。
- →回復には抜本的な復旧工事が必要。当面、 注意して運用する。

宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・<u>岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない</u> ものがある。(一般車両は走行可能)
- →回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法 線の近くに重量物を置かないように運用する。

小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

5岸壁中4岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁×4

【主な利用条件と対応状況】

- ・一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。
- →応急復旧を準備中。

水深5.0m岸壁は利用不可 → 抜本的な復旧工事が必要

福浦港 **滝港** 国際拠点港湾 ■ 重要港湾 ● 地方港湾 ▲ 避難港

飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

2岸壁中1岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁



【主な利用条件と対応状況】

- ・航路内に小型船が沈没しているので、航行時に注意が必要。
- →沈没船撤去等の準備中。当面、注意して航行してもらうことで対応。
- アクセス経路にうねりが生じている。
- →応急復旧を実施し、9日に作業完了。

水深5.5m岸壁は利用不可→抜本的な復旧工事が必要

七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

8岸壁中3岸壁が利用可能

水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・液状化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。
- →応急復旧を準備中。当面、走行できない区域を避けて物資を搬送。

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・<u>岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない</u>。(一般車両は 走行可能)
- →回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

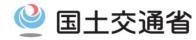
その他の5岸壁は利用不可

→抜本的な復旧工事が必要



海翔丸の支援物資の積卸し (5日;水深7.5m岸壁)

令和6年能登半島地震 能登空港の復旧状況



能登空港

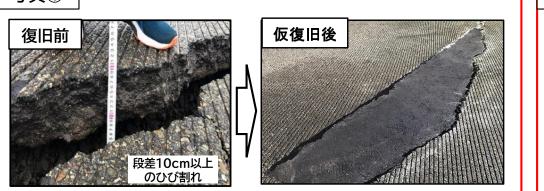
令和6年1月11日

- 発災翌日より、能登空港において救援へリコプターの受入れを開始
- 1月9日より、空港運用の支援のためTEC-FORCEを追加派遣し、10日より、空港運用時間を拡大 ※8:00~19:30(11.5時間)→6:00~24:00(18時間)へ
- 被災した滑走路については、TEC-FORCE支援の下、石川県が仮復旧工事を実施 ⇒本日より、自衛隊輸送機の離発着が可能
- 引き続き、能登空港の円滑な運用及び施設の早期復旧に向けて、石川県を全力で支援

これまでの経緯

- 1/2 ・国土交通省航空局よりTEC-FORCEを現地に派遣
 - ・救援ヘリの受入を開始
- 1/3 ・滑走路の被災状況調査
- 1/4 ·石川県発表
 - 仮復旧を施し、自衛隊機の離発着は数日後に可能となる見込み
 - 民航機が運航可能となるのは早く とも3週間後(1/25)以降の見込み
 - ※民航機再開に向けては、さらに滑走路や 航空灯火等の修理が必要。 復旧時期について現在精査中。
- 1/5 ・仮復旧に着手
- 1/6~・防衛省による滑走路の確認 を実施
- 1/9~ ・空港運用の支援のためTEC-FORCE職員を派遣
- 1/10~・空港運用時間を拡大







③舗装のひび割れ個所多数、航空灯火被害







	リエゾン 被災状況調査班(道路) 被災状況調査班(河川) 被災状況調査班(港湾) 高度技術指導班(水道) 高度技術指導班(都市)	北信運輸 関東地整 北陸地整 北陸地整 中国地整 本省	1名 20名 4名 1名 2名 2名
道	閉塞箇所の調査(志賀町)		
2		被災状況調査(志賀

ドローン調査(輪島市			
	本省 国土地理院 気象庁	13名 2名 5名	
5川県庁【23名】	11.0± 11.±6	0.47	

石川県庁【23名】		
リエゾン	北陸地整	8名
リエゾン	国土地理院	1名
JETT	気象庁	2名
高度技術指導班(住宅)	本省	1名
高度技術指導班(都市)	本省	1名
高度技術指導班(水道)		2名
高度技術指導班(下水)		3名
高度技術指導班(河川)		1名
被災状況調査班(砂防)	北陸地整	4名







内灘町

金沢市【9名】

応急対策班 (照明)

応急対策班 (道路啓開) 北陸地整

被災状況調査班(道路) 北陸地整

被災状況調査班(道路)中部地整 高度技術指導班(水道)近畿地整 1名







	富山市 ※派遣先調整中【21名】	
White I have the	広報班 関東地整 2	2名
	現地支援班(電源確保)関東地整 9	名
	現地支援班(応急給水)北陸地整 8	3名
	現地支援班(応急給水)関東地整 2	2名
JUANHE	DI LI Marin Tille	

現地支援班(応急給水)



			4
七尾市【41名】			
リエゾン		北陸地整	1名
リエゾン		北信運輸	1名
被災状況調査班	(砂防)	関東地整	4名
被災状況調査班	(道路)	関東地整	4名
被災状況調査班	(道路)	中部地整	20名
被災状況調査班	(港湾)	北陸地整	2名
被災状況調査班	(港湾)	中部地整	2名
被災状況調査班	(鉄道)	本省	2名
被災状況調査班	(鉄道)	北信運輸	3名



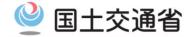
高度技術指導班 (水道) 中部

北陸地方整備局【29名】

6名 10名 4名 3名 5名 先遣班



照明車を活用した電源支援について



2024.1.10現在

- ■停電が長期にわたる避難所等へ、1/6より国土交通省の<mark>照明車を電源車として派遣し、被災者へ電源支援</mark>。 ■珠洲市(旧本小学校(1/6~7)、第三長寿園(1/7~)、勤労者会館(1/8~)、粟津ビニールハウス(1/9~)、
- ■珠洲市(旧本小学校(1/6~7)、第三長寿園(1/7~)、勤労者会館(1/8~)、粟津ビニールハウス(1/9~)、元気の湯跡(1/9~))、輪島市(港公民館(1/7~)、道下集会所(1/8~)、浦上公民館(1/8~)、 剱地原子力防護施設(1/8~))で実施中。
- ■今後も、輪島市、珠洲市において電源支援を拡大していく予定。



避難所への給電接続作業 (輪島市 剱地、浦上、道下、港)

※中部地整の災害協定に基づき、愛知・岐阜電業協会から電気工事士を派遣

■電源支援箇所数(1/9 現在) <u>※活動中8箇所</u> 輪島市:4箇所 (うち、施設給電4箇所) 珠洲市:5箇所(内1箇所終了)

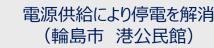




電源供給により停電を解消 (輪島市 浦上公民館)



照明車への給油作業 (輪島市 剱地原子力防護施設ほか)





電源供給により停電を解消 (輪島市 道下集会所)



※中部地整の災害協定に基づき、ナガイ(株)・土屋建設からローリーを派遣